

新潟市立岡方第二小学校

岡方第二小学校長 大原 康史

新聞活用の様子

新聞に慣れ親しみ、必要な情報を読み取るために、新聞を自由に閲覧できる環境を整え、授業等で積極的に新聞を活用してきました。



ペアになって興味のある写真や文章を探します。好きな動物や乗り物、私の夢などの文を探しました。【2年 国語】



お気に入りの記事を選んで個別にじっくり読んでから、自分の読んだ記事について班で紹介し合いました。【3年 国語】



意見文を書く学習でした。自分が興味をもった新聞記事を読み、自分の主張・根拠を考えてタブレットで記していました。【5年 国語】



新聞コーナーを設置し、自由に手に取って読めるようにしました。休み時間等を使って日々のタイムリーな話題に関心をもって読む姿が見られました。【全校 図書室】

担当の先生から

全学年で新聞を活用した実践を行いました。新聞に触れることで、新しい言葉や写真などの情報に出会ったり、新聞を学習に活用したりするなど、新聞のよさに気付くことができました。各学級に新聞コーナーを設けるとにより、新聞に親しむ環境も整えられ、新聞を読む姿も見られるようになってきました。今後も新聞を取り入れた学習を進めていきます。

新潟市立竹尾学校

竹尾小学校長 小林 裕之

新聞活用の様子

令和4年度にNIE推進校になったことで、小学生新聞2社、一般の新聞2社を活用することが可能になりました。竹尾小学校の56%の児童が「新聞を読んだことがない」とアンケートに答えたところからスタートしました。以下、全校で取り組んだ新聞活用の様子を紹介します。



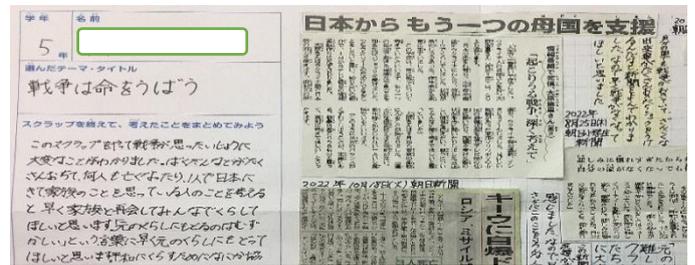
① 新聞を身近に感じるための取組

令和4年7月、新潟日報の「ゆめ」の掲載が竹尾小学校でした。子どもたちが興味をもって読むきっかけになると考え、「竹尾小新聞」として切り抜き記事を掲示しました（左の写真）。また、廊下の掲示板では「どっちの記事がいい？」と問いかけ、2つの記事を読み比べられるようにしました。子どもたちは記事を指さしながら「わたしはこっちがおもしろいな。だって・・・」と自分が選んだ根拠を指し示しながら、楽しそうにシールを貼っています（右の写真）。



② 新聞を手にとって読む取組（インプット）

担任の先生と「新聞を読むポイント」を確認してから、自分で記事を読みました。子ども新聞なので読みやすいです。



③ 読んだ記事をスクラップ新聞にする取組（アウトプット）

テーマを決めて記事を集め、根拠をもとに考えたことをまとめました。この児童は「戦争は命をうばう」をテーマに選びました。複数の記事を比較することを通して、考えを深めることをねらいました。

担当の先生から

夏期休業中に2回、新潟日報の方を講師に招き、職員研修を行ってから全校体制で新聞活用の取組を行いました。子どもたちが生きていく未来には、事実や意見が混ざった情報がたくさん溢れています。読み手である私たちが多くの視点を持ち、正しく情報を受け取り、自分の意見をもてるようになるためのとてもよい機会となりました。上記の取組を通して、竹尾小学校の96%の子どもたちが「新聞を読んだことがある」と答える結果になりました。（文責：長谷川）

新潟市立笹口小学校

笹口小学校長 佐藤 貴子

新聞活用の様子



【1年生 国語】

片仮名の学習の一環として、新聞に書いてある片仮名の言葉さがしをしました。「こんなに片仮名の言葉ってあるんだ〜!」と、新たな発見となりました。



【3年生 総合】

総合の学習をまとめるための新聞作りに際し、新聞の構成の工夫を学びました。「見出しはこんな言葉にしようよ。」「写真はこんなものを入れたら分かりやすいね。」と、相手意識をもってまとめる学習につながりました。



【4年生 社会・理科・国語など】

自分たちの学びの振り返りやまとめを新聞形式で行いました。図やグラフの活用、言葉の使い方など、回数を重ねていくうちに精度が上がっていき、構成の基本を踏まえつつも、自分たちのオリジナリティを表現できるようになりました。

担当の先生から

ここに紹介した学年の実践の他に、6年生は、総合の学習として「けやき通り光のページェント」に参加するに当たって、イベントの財政難や存続の危機を訴える投書を行いました。投書を自分たちで書くために、新聞の投書欄をじっくり読み、文章の内容を充実させるためにたくさんの情報を収集しました。投書を読んだたくさんの市民から、支援の手が差し伸べられました。子どもたちは、新聞は、読み手である世の中の人々の心や行動を変えるものなのだ実感していました。ページェントに向けて、のちの活動の幅を広げられた実践となりました。

そのような実践にたどり着くまでには、子どもたちにとって新聞が身近なものになっていなければいけないので、低学年のうちから新聞に親しむ活動が必要だと思いました。文字が読めなくても、素材として新聞紙に触れたり、自分たちの学校が取材で取り上げられた時にみんなで記事に目を通してみたりすることが有効だと考えます。また、タブレット端末をはじめとしたデジタルコンテンツに慣れている子どもたちへ向けて、Web上での記事閲覧や記事検索機能などの充実も必要になってくると思いました。

1年間の実践を通して、今後も、新聞が子どもたちにとって身近な存在であるという認識を広げられるよう、子どもたちの実態に合った新聞を活用する授業展開を考えていきたいと思いました。

新潟市立女池小学校

新潟市立女池小学校長 田中 修二

新聞活用の様子



常時閲覧できるように、図書館や廊下にスタンドを設けています。興味をもった新聞記事をじっくり読んでみると、友達が集まってきて、盛り上がっています。

防災について、社会科や総合で学習したことを思い出しながら、今年度の豪雪のニュースを読み比べています。被害の大きさを、身近な問題として捉えています。



国語科「新聞を作ろう」の学習で、実際の新聞を使って新聞の構成を確かめました。

朝の会の時間に日直が興味をもった新聞記事について紹介しました

<4年>

国語、社会、総合などの教科で、実際の新聞を活用しながら、学習のまとめや分かりやすい伝え方を学ぶ学習で新聞を活用していきたい。

<5年>

国語、社会、理科、総合で活用することができた。日常的に新聞に興味をもたせたり、複数の記事を比較しながら情報を得て自分の考えをもったりすることができるように指導していきたい。

<6年>

新聞記事を読むだけでなく、その記事を通して自分の考えをもち、友達と話し合い、自分の見方や考え方を深め、新聞を通してより深く物事を見る力を養いたい。

新潟市立亀田西小学校

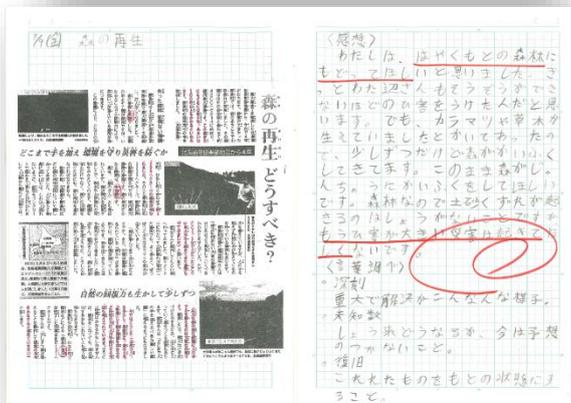
亀田西小学校長 石川 裕

(1) 新聞活用の様子



○5年生 国語「新聞を読もう」
新聞の構成や工夫を知り、その良さを考えました。また、同じ出来事を伝える2つの記事を読み比べ、見出しや写真が与える印象の違いについて話し合いました。

○5年生 学活「新聞トーク」
一週間の記事を出し、自分が気になったものにネームプレートを貼り、同じ記事の仲間と集まり議論をしました。



○5年生 総合「自然教室のふりかえり新聞づくり」
新聞の見出しやコラムを参考にして、オリジナル新聞を作りました。新聞の見出しを考えることで、自分が一番伝えたいことは何かを考える良い機会になりました。

○5年生 学活「新聞スクラップ」
記事について自分の考えを書きました。時事問題に興味を示す児童が増えました。

(2) 新聞活用の成果と課題

成果

新聞を活用することで、テレビで流れるニュースと新聞の記事を関連付けて考える児童が増えました。新聞の一面を見て、今、日本で注目が集まっている情報を自分から取得しようとする様子が見られました。

課題

一般紙は、児童にとって難しい内容が多く、自分から進んで読む児童は少なかったです。新聞記事の内容を参考にするには、児童の発達段階に応じて子ども新聞の活用により理解を促進できると考えました。

継続していく取り組み

時事問題に興味をもつだけでなく、記事について自分の意見を書く機会にもなるので、引き続き新聞スクラップに取り組んでいきたいと考えています。

新潟市立結小学校

新潟市立結小学校長 北村 宏

新聞活用の様子

学びや生活の中で新聞に慣れ親しみ、知りたい情報や生活を豊かにする情報を集めたり、読み手に分かりやすく伝える新聞作りの工夫を知ったりできる授業づくりや、気軽に新聞を読むことができるような環境作りに取り組んできました。興味をもって新聞を手取る姿がみられました。

4年生国語・総合「能代川新聞を作ろう」



新聞を手に取り、読み手に伝わる工夫をグループで話し合いました。「能代川新聞」を書く際に、見出しや割り付けを工夫して書くことができました。



新潟日報社の小林さんに、当校出身でラグビー日本代表稲垣選手の記事を読む中で、新聞の記事が「5W1H」で書かれていることを知り、読み手に分かりやすく伝わる文の書き方を学んでいました。

5年生国語「新聞を読もう」



新聞の「見出し」「リード文」「本文」の役割や特徴について学びました。読み方を身に付け、学習や生活に生かすことができるようになりました。

担当の先生から

N I E授業に取り組むことで、国語科を中心とした授業では、児童が進んで新聞を手に取り友達とかかわりながら、興味をもった記事を読んだり、課題解決に必要な情報を探したりする姿が見られました。授業後の振り返りでは、「今まであまり新聞を読んだことがなかったけれど、これからはスポーツや新潟市の記事をもっとたくさん読みたい。」と新聞を読む楽しさを感じていました。

今後も、「新聞よむよむコーナー」や放送委員会の昼の放送の「N I Eコーナー」での記事の紹介などを継続し、全校児童が新聞に親しむ場を作っていきたいと思います。

司書との連携

「新聞よむよむコーナー」



司書の先生手作りの「新聞よむよむコーナー」には、休み時間になると児童がたくさん集まっていました。毎日変わる記事を楽しみにして、低学年も所狭しとみんなで読んでいました。

新潟市立茨曾根小学校

校長 引場 裕子

新聞活用の様子



社会「わたしたちの市の歩み」の学習の導入で、横浜駅や鉄道の歴史についての記事を読みました。写真をもとに、昔と今の違いを見つけました。



新聞を作る活動で、読み比べをしながら紙面構成について話し合いました。写真や見出し、キャプションの効果を実感することができました。



朝の会で「きらきらキラリ」を読み合い、友だちの考えに触れています。



理科「火山の噴火と地震」の学習と関連付けて豪雨災害の防災について、新聞から積乱雲や線状降水帯などの「キーワード」を探し、豪雨対策を考えました。

担当の先生から

国語や社会、理科など、教科の学習に新聞を取り入れることで、多面的に物事を捉えたり、多様な考えに触れたりすることができました。今後も積極的に新聞記事を授業に取り入れ、学校と社会との接点を広げる働きかけを継続して行っていきます。

新潟市立西内野小学校

西内野小学校長 小柳 裕司

新聞活用の様子

5学年の国語科「新聞を読もう」の学習で、新聞の1面のレイアウトを確認したり、同じ記事について、地方紙と全国紙で書いてある内容がどのように違っているか比較したりするなど、実際の新聞を用いて様々な活動を行いました。



新聞の1面には何が書かれているのかを教科書で学習し、実際の新聞で一つ一つ探して確認をしました。



全国紙と地方紙の同じ内容の記事について、見出しや本文の表現のちがいや同じところを比較しました。



全国紙と地方紙の1面を比べて、同じことやちがうこと、疑問などをグループで話し合いました。



自分が興味をもった記事について要約してロイロノートにまとめ、グループで紹介しました。

担当の先生から

<成果○と課題▲>

○普段、新聞に接することが少ない児童にとっては、新鮮、様々な情報を得られる、何度も読み返すことができる、マンガやクイズなど楽しいことも書いてあるなど、楽しく新聞を読むことができた。「また読みたい。」という感想をもつ子が多かった。

▲難しい漢字がたくさんあったり、内容が大人向けに書いてあったりすることがあり、子どもたちが記事の内容を読み取るのは困難であった。

新潟市立黒埼南小学校

新潟市立黒埼南小学校長 山口 潤

新聞活用の様子

新聞を読み活用することに関して、以下の点を重視して活動を行いました。

◇実際の新聞記事や新聞記者からの話を参考に、学習のまとめ方、そして、人に伝えることを目的とした学習新聞の書き方を習得する。

6年生では、総合的な学習の時間「佐渡に学ぼう」の学習で、新聞記者の方から「伝わる」新聞づくりのポイントを教えていただきました。その後、出前講座で学んだことを生かして、修学旅行での学びについてを、来年修学旅行に行く5年生や保護者に伝えるために学習新聞づくりに取り組みました。



出前講座の中で、「記事は逆三角形」というキーワードを教えていただいた。佐渡新聞を作る上で、見出し、リード文、意味、説明の順で伝えたいことを書くことを学び、「伝わる」新聞作成に活かすことができた。



出前講座で学んだことについて、タブレット端末での下書きを元に、丁寧に新聞を仕上げた。

修学旅行で訪れた佐渡について、グループでテーマを選び、新聞を作成した。



担当の先生から

授業で実際の新聞に触れたことや、新聞記者の方が情報を伝える際に行っている工夫を知ること、学習の発表方法としての新聞の構成のよさを学ぶことにつながりました。

休み時間には、図書室でじっくりと新聞を読む姿が見られるなど、新聞に親しむ姿が多く見られました。今後も、新聞を取り入れた学習に取り組んでいきます。

新聞活用の様子

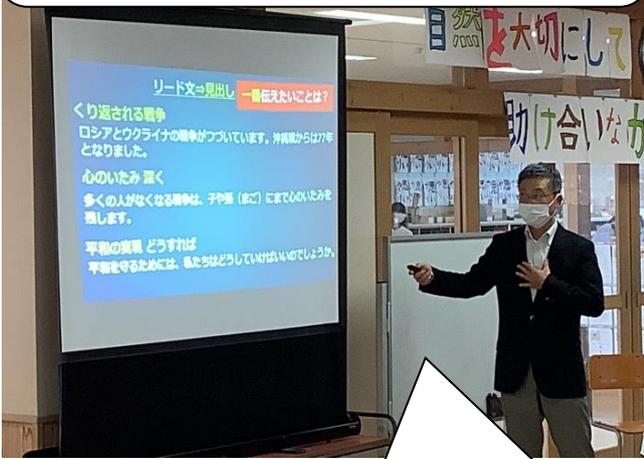


3年国語「食べ物のひみつを教えます」

実際の新聞の特徴を確かめ、表現の工夫を学びました。すがたを変えて食べられている食品について、見出しの工夫をするなどして新聞の形でまとめました。

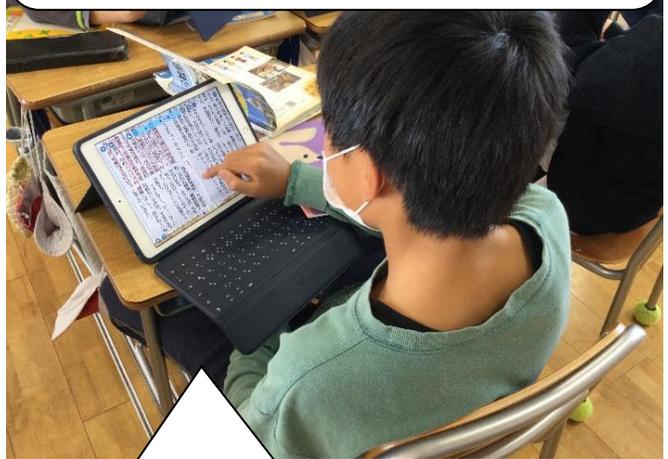
4年国語「新聞を作ろう」

実際の新聞から、事実を分かりやすく伝えるための工夫点を確認しました。そして、見出しを考えたり、図や写真を文章と組み合わせたり、アンケート結果を載せたりして、新聞にまとめました。



5年 国語「新聞を読もう」

新潟日報の方を講師にお招きして、新聞の一面について教えていただきました。「見出し文」「リード文」「本文」の構造について教えていただきました。その後の新聞づくりに生かすことができました。



6年 社会「ともに生きる暮らしと政治」

新潟市長選挙で、2人の立候補者が目指す政治についての記事を読みました。記事をもとに自分だったらどちらの候補者に投票するかを考えました。

担当の先生から

- ・3年生以上では、記事を読んで自分の考えをまとめたり、実際の新聞の見出しや割付の工夫、図や表の使い方、表現の工夫などを学習し、学習をまとめる時の手法を学んだりすることができました。
- ・低学年でも、学級活動で「の」の字探しゲームをしたり、カタカナの学習後、新聞でカタカナ言葉を探したりして新聞を活用することができました。今後も新聞を配置し、全学年で活用していきます。
- ・図書館前掲示板を活用し、新聞を配置したり、ワールドカップの記事特集を掲示したり、記事をスクラップして教材として活用したりしました。今後も継続していきます。

新聞活用の様子

5年生の社会・国語の学習を中心に新聞を活用しました。新潟日報社の木村隆参与をお招きし、新聞社の仕事や新聞に携わる方々の思いなどを教えていただきました。また、教室内に新聞コーナーを作り、日頃から新聞に親しむことができるようにし、印象に残った記事について交流できるようにしました。



社会で、新聞記者の仕事に対する思いや、他メディアとの比較から新聞のよさを知りました。



新聞コーナーを作り、時間のある時に新聞を読むことができました。



朝の会の日直のスピーチでは、気になった新聞記事を選び、選んだ理由と自分の感想を友達に伝えました。



スピーチで使用した記事は掲示し、後からじっくりと記事を読めるようにしました。

担当の先生から

新聞社の方から直接、記者の記事にかける思いを聞くことができ、新聞に対する関心が高まりました。今後も、スピーチタイムで新聞を活用する機会を設け、子どもたちが積極的に新聞に親しめるように工夫していきたいです。

新潟市立岡方中学校

新潟市立岡方中学校長 小泉 浩彰

新聞活用の様子

- ①講師を招いて、演題『読み解くチカラを伸ばそう』で、全校生徒で、実際に新聞を手に取りながら、新聞紙面の構成や読み方などについてご講演いただきました。
- ②新聞を活用した授業に取り組みました。特に、国語、社会、道徳の授業で。
- ③休憩時間や放課後等に、生徒が新聞を自由に閲覧できるように、『閲覧コーナー』を廊下に作りました。



①新潟日报社 読者局 木村 隆 様の講演会の様子です。記事の紙面の構成について、具体的な例で考えました。



①実際に新聞を手にとって、興味ある『見出し』を探し、その記事を読みました。読み方について学びました。



②国語の授業の様子です。効果的な見出しについて考え、グループで実際に見出し作りを行いました。



③教室棟廊下『閲覧コーナー』です。連日、サッカーのワールドカップの記事が紙面をにぎわしていました。

担当の先生から

※ 新聞を実際に手に取る機会を設定し、多くの生徒に、新聞への興味・関心をもたせることができました。特に、国語や社会、道徳の授業で、日常生活で実際に起きている出来事を題材にして、購読した3社の新聞を読み比べたりしながら学習を進め、新聞を活用する場面をたくさん設定することができました。

今後は、学んだことを活かし図書館利用や朝読書を通して、活字に触れる機会を積極的に設け、『読み解くチカラ』を定着させる実践に継続して取り組んでいきたい。

新潟市立上山中学校

上山中学校長 白石 誠史郎

新聞活用の様子

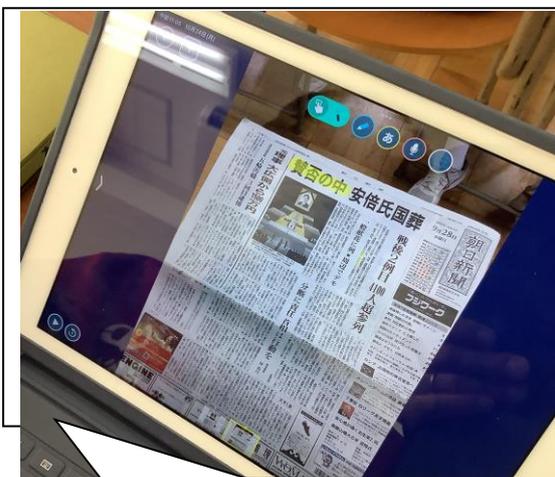
現代の民主政治という単元の「マスメディアと世論」の授業で、新聞各社によって、同じ出来事でも伝え方が異なる事を理解するために、伝え方や記事の書き方に違いがある記事を比較する授業を行った。



ロイノートに新聞をはりつけ、タブレットを使ってまず2社の新聞を比較した。



生徒はどちらが国葬に賛成か反対かを記事から読み取る作業を行った。



なぜ、そのように判断したのかという根拠も新聞記事から見つけさせた。



さらに新しい新聞記事を使い、伝え方が異なる事への理解を深めた。

担当の先生から

生徒は、同じ事実を伝えているのに、あまりにも伝え方が違うので驚いていた。自分がどの新聞を読むかによって、自分もつ意見が変わってしまうことを感じている生徒が多くいた。これからも新聞記事の比較をすることで、メディアリテラシーをつけていきたい。

新潟市立小合中学校

小合中学校長 太田 公仁

新聞活用の様子

公民全学習で各新聞社の記事と比較させて生徒に考えさせる。生徒たちはどうして新聞社によって記事が相違するのか、自分なりに分析をし始める。読者にどのように伝え方や記事の書き方、タイトルの選択の仕方を比べる視点で授業を行った。



新聞のタイトルをみて、まず生徒たちはなぜ、このタイトルか考えた。



なぜ同じ戦争でもとりあげる武器の違いを生徒たちは比較した。



自分たちに近い話題のタイトルには興味をもって新聞記事を読んでタイトルにした理由を考えた。



世界と日本を比べて、日本がどのような防衛、軍事関係ですすむのか生徒たちは話し合いをした。

担当の先生から

生徒は新聞社によって同じ時期の新聞のタイトルが違うことをわかり、驚いていた。生徒たちは新聞社がとりあげる記事をどのように選択するか理解しようとした。生徒がこのことから新聞を比較し、記事を分析することによって、自分だけでなく、学級全体で新聞についての社会的認識を高めた。同時に、メディアリテラシーを生徒がつけてゆくことになった。

新潟市立中野小屋中学校

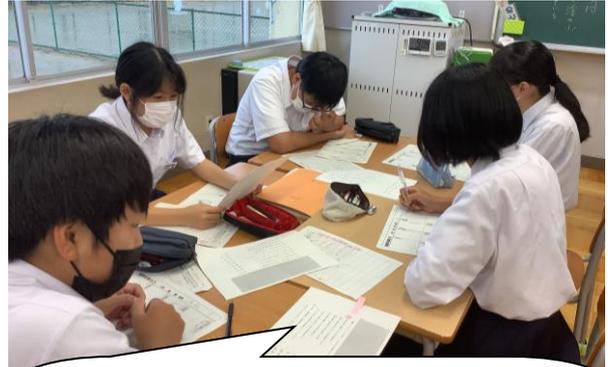
中野小屋中学校長 潤間 るみ

新聞活用の様子



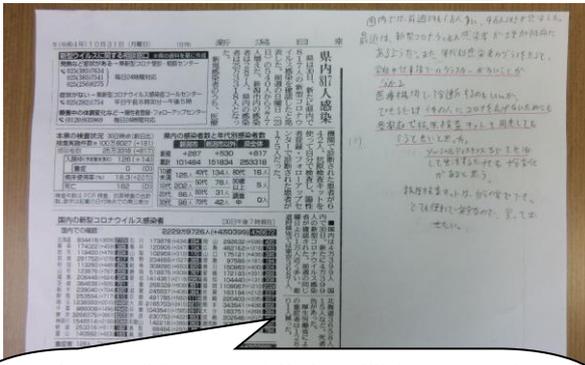
NIE掲示板を設置し、スクラップ記事を掲示しました。テーマごとに特集を組んだり、委員がおすすめの記事を紹介したりして、生徒が世の中のできごとに興味をもてるよう工夫しました。

【全校 図書・文化委員会】



授業で短歌・俳句や詩の創作を行いました。新潟日報ジュニア文芸を活用して様々な学年の作品を味わいました。最終的に自分たちの作品も応募しました。

【全校 国語】



授業で感染症の現状を新聞記事から読み取りました。季節ごとのデータを比較することを通して、変化に気付かせました。そこから自分の生活を振り返ることができました。

【3年生 保健体育】



経済に関して興味をもった新聞記事を選び、その記事を選んだ理由を書きました。そこからどんな疑問が出てくるか考え、共有しました。問題意識をもって経済の学習をすることができました。

【3年生 社会】

担当の先生から

全学年で新聞を活用した授業実践を行いました。新聞記事を通して、世の中で今起きていることを教材にして学ぶことができました。日頃、新聞を読む機会が少ない中学生が新聞に興味をもてるよう校内の環境を整備し、新聞に触れる機会を増やしました。新聞の構成から情報の読み取り方を学び、自分に必要な情報を集めたり、分析したりする力の育成に繋がりました。

一方で、課題は2つありました。新聞には日々たくさんの情報が掲載されているので、教員が授業のねらいに適した記事を取捨選択し、教材研究をすることが大変でした。また、中学生にとって新聞記事に使われている語句が難しく、生徒が新聞記事から必要な情報を探すためには、授業者が工夫をしたり、支援をしたりすることが必要でした。小学生向けの新聞が中学生にも活用できると感じました。

今後も生徒が新聞に触れる機会を意図的に設けられるよう環境を整え、情報活用能力の向上に努めたいと思います。

新潟市立高志中等教育学校

高志中等教育学校長 灰野 仁

新聞活用の様子

- ・ 日常的に新聞を読めるよう、各教室や共有スペースに新聞を設置。
- ・ 新聞社の方から、新聞記者の仕事や、新聞の読み方を学ぶ会の設定。



7月9日（土）、新聞記者の方から記者の仕事や大事にしていることを学ぶ。

共有スペースに複数の新聞を常時設置



12月17日（土）、新潟日報社読者局参与 木村 隆 様から新聞記事の構造解説に始まり、読解力、思考力を鍛えるための方法を講義していただいた。

担当の先生から

※ 新聞活用の成果と今後の課題、継続していく取組等について記述を願います。

- ・ 新聞を購入していない家庭が増えてきていることから、今後も共有スペースに複数の新聞を設置する。
- ・ 授業において新聞記事を意図的に活用し、教室での学びと実社会とをつなげて考えられるようにする。